

ゆたかに労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 516

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんば	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこぐら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
あさやけ喜平橋食堂	小平市上水南町 2-23-21-5	TEL 042-312-0793
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



描いたみんなの似顔絵をアートフェスティバルに出品します。

描くことが好き

あさやけ作業所



人と話をするのが好き

橋本 泰典さん

(あさやけ鷹の台作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



作業所に入所して十八年。週に三日間無理のないペースで通い、作業所では下請け作業班でダイレクトメールの仕事をしています。休み時間には外のベンチや、秋冬には作業所前の林の切り株が定位置となり座ってのんびり過ごす姿が印象的です。誰にでも優しい橋本さんは、色々なメンバーから話しかけられ、また仲の良いメンバーが踊っているのを温かく見守っています。

仕事だけではなくアート活動でも力を発揮しています。アートフェスティバルに向けて絵を描く時間では、自分の身の回りの物の絵、例えばラジオやテレビ、お金などの絵を描きます。なんとも言えない味のある素敵な絵を見て、職員がとても驚いたのを覚えてい

ます。またアートフェスティバルでは美術大学の学生さんがその絵に注目してくれて、そのことを橋本さんに伝えた時にはとても喜んでいました。

一時期体調がすぐれずに長期

で、以前は誰かと話をするのもそこまで楽しいとは思わなかつたのが、今では人と話すことが好きになつたと話す笑顔の似合う優しい橋本さんです。

頑張っていることはありますか?

「ダイレクトメール作業頑張ってる。ラベル貼りが好き」

「作業所で楽しいことはありますか?」「人と話すのが好きになつた」「家でラジオ聞いたりテレビを見たりするのが好き」

橋本さんに聞いてみました。

と話してくれました。

サングリーンは、「〇一二年に「あさやけ第三作業所」と「福祉工場エバーグリーン」が事業統合してできた通所施設です。精神の障害を持つ方の日中の作業活動や、就労支援を行う多機能事業所として、名称を新たに『サングリーン』がスタートして十年が経ちました。

それまで「あさやけ第三作業所」が行っていた縫製作業と、「福祉工場エバーグリーン」が行っていた米ぬか石けん製造を中心、ダイレクトメールの下請け作業やジヤムやクッキーなどのお菓子製造、昼食づくりなど様々な作業を行つてきました。この一、二年で職員の異動や退職が重なり職員態勢が大きく変わりました。作業内容や作業量を見直し、今年度は縫製作業をベースに米ぬか石けん作業を行い、作業以外の活動として納品や販売活動・アート活動・レクリエーションの時間も重視していくことになりました。

作業の見直しをすすめる中で、今ある作業以外の新たな作業や商品づくりについてメンバーから意見を聞くと、様々な意見があがりました。実際に試作づくりなど試行錯誤するため、

作業の見直しのなかで、新しい挑戦を

サングリーン

畠山 梢

かつたり…商品化まではまだ道のりが長いものもあります。それでも、今までの作業では見えなかつたメンバーのストレングスや得意が見えたり、挑戦する楽しみやのわくわく感も見え始め、今後の可能性を感じることができます。職員もメンバーも試行錯誤中。これが、今のサングリーンを作つてみました!」「和紙で飾り物を作つてみました!」などやつてみたいことや提案が多く出るようになりました。メンバーも職員も初めて挑戦することが多く、やつてみたら難しかつたり、思つていた通りに出来上がらな

りました。無事回復して退院した後作業所に通所できるようになりましたが、それ以降健康には以前より気を付けるようになり、休みの日は自転車に乗つたり散歩に出かけたり外に出て体を動かすこと意識しているようです。

今年度から「新商品開発日」を設けました。この日は一日、通常の縫製作業も行けんもつくりません。まだ数回ですが、羊毛フェルトでプローチづくり、マクラメ編みでブラントハンガーブルックリ、粘土で置物や一輪挿づくりにチャレンジ!など。最初は今までの作業と全く異なる時間を過ごすことには何をどう

やつたらいのか戸惑いや不安を感じるメンバーが多かつたのですが、最近では「UVレジンでアクセサリーはどうか?」「切り絵をしたい!」「和紙で飾り物を作つてみました!」などやつてみたいことや提案が多く出るようになりました。メンバーも職員も初めて挑戦することが多く、やつてみたら難しかつたり、思つていた通りに出来上がりました。無事回復して退院した後作業所に通所できるようになりましたが、それ以降健康には以前より気を付けるようになり、休みの日は自転車に乗つたり散歩に出かけたり外に出て体を動かすこと意識しているようです。



あさやけ喜平橋食堂

本日のお弁当特集

牛丼と人気のマーマレード丼相成
はうるん娘のマリットタ
しじとののサブン
大根マヨネーズ
ミニチーズランバー
新木島産コンニャク

こんにちは、あさやけ喜平橋食堂です。今日はお弁当の二種めがとうございました。牛丼や盛りあわせでした。また、半直にご注文をお待ちしております。

今月のお誕生日「マリットタ」と「チップ」と「新木島産コンニャク」

フレンチトーストはイモのフレンチトースト。ナッシュイントルトはイントルトです。

そして、新木島産コンニャク。

なつかかね、感謝の心をこめていたんだ。

自分で自分はこころだよ。

本日も皆さんのたくま事が出来ますよ



あさやけ喜平橋食堂 開設して1年

長い思考錯誤の時間と約五十ページに及ぶ計画書を携え、終わりがまったく見えなかつた新宿での行政との調整を経て、令和四年五月一日に「あさやけ喜平橋食堂」が小平の上水南町、喜平橋交差点のそばの路地の奥の奥で声を上げたのです。社会福祉法人ときわ会としては七番目の通所施設でした。

スタッフ四名 メンバー一名。削りに削つた少数精銳でのスタートの様子は皆様の想像にお任せしますが、電話がない、ネットも通じない、ネット大という状況も想像の中に入れられて考えてみてください。

「お弁当」の製造、「ここ」が最初のミッションでした。お弁当の製作を繰り返しますが、料理の腕をあげることが目的ではない、スタッフが誰も経験していないかった一社による調理、まったく未知の機械「ステームコンベクション」との時間がたくさん費やされていましたと懐かしく思い出します。

もちろんたくさんトラブルもありました。ここを挙げるだけでも何かに突き刺さるものを感じますので、思い切って割愛します。

そんな状況でも、お弁当の注文や、カフェに来店してくれる方々が地道に増えました。どうやら喜平橋周辺には飲食店が少ないらしく、お昼の調達に困っていた近くの会社の方、お子さん送迎後のお母さん方がおしゃべりする場、配達業者さん、夜勤明けの方々など、あさやけ喜平橋食堂の利用をしたいだいき、様々な背景を持つ人たちがこの地域にいらっしゃったことに気付かれられます。

まだまだ課題は山積みなのですが、あさやけ喜平橋食堂の最初のメンバーから一周年に寄せて文章を書いてもらいました。

「なんにちは。私は喜平橋食堂に勤めている牧といいます。なぜこの作業所に勤めています。食べる事が好きで、いつかはそういう作業所にいて働きたいと思つていたからです。私はもともと作業所でまかないを作つてあるサングリーンにいました。だからその時は、自分に自信がもてず、声を出して「やりたい」とはいいだせずその作業を横目でうらやましく思いながら他の事をやっていました。だから今の作業所の話を聴いた時、「よし、今度こそやるぞ。自信を持った。そして試用期間を終えて本採用になつた時は大変うれしかつたです。今は一日の作業の流れを單純化してもらい、タイムスケジュール通りに動く事が出来る様になり、毎回注文をいただいている作業所のメンバーさんや、店頭で弁当を貰いにきていただいているお客様の食べている笑顔を勝手に想つて元気に楽しくやらせていただきます。

今少し問題が発生しています。弁当の「注文をいただいた方はわかっているのですが、弁当にかける掛紙のネタに困っています。毎日スタッフさんが掛紙にメニュー以外にちょこっと心をはつとするシャレのきいた言葉を書くのですがそのネタがつきてきたのです。できればずっとネタを書いていたいたいのですが、弁当を食べる方以外にも、ネタを募集したいと思つています。一年を過ぎスタッフもメンバーさんも増え、みんなでわいわい楽しく想いながら作業をしています。弁当以外にも飲物やケーキやカレーなどの軽食を提供しています。ぜひ皆様に来店していただいて、楽しい時間を過ごしていただきたいと思つてます。

最後に私は今の作業所がずっと続いてほしいと思ってます。皆様に応援をしていただければ幸いです。



調染みのないステームコンベクション

一周年に寄せて

「なんにちは。私は喜平橋食堂に勤めている牧といいます。なぜこの作業所に勤めています。食べる事が好きで、いつかはそういう作業所にいて働きたいと思つていたからです。私はもともと作業所でまかないを作つてあるサングリーンにいました。だからその時は、自分に自信がもてず、声を出



9割苦労のクリスマス企画のキャラ弁当



2023年アートフェスティバルにむけて

アートフェスに思いを乗せて

地域生活支援センターあさやけ

地域生活支援センターあさやけはさまざまな方が利用しています。得意なこともそれぞれで、ボールペンで風景画を描く方や絵具を使って描く方、トーンを貼って漫画のようをする方、オリジナルの詩を書く方など、それぞれが得意にしていることをアートフェスでは発揮しています。あさやけはメンバーさんが思い思いに過ごしているので、日々の活動もメンバーさんと一緒に考えて決めることもあります。5月の女子会では参加した人たちで折り紙を折る予定です。また、書道の時間には筆や墨を使った習字やペン習字を行っていて、さまざまな角度で創作活動を行っています。今年のアートフェスのキャッチフレーズは支援センターのメンバーさんが出してくれた案の1つである「あ～！っと発見！アートフェス♪♪」に決定しました。「あ～！っと」と「アート」をかけたところがこだわりです。（メンバーさん談）

写真は去年と一昨年の合同作品です。2022年度は「Love, Peace & Flags」2021年度は「Flowers Cover Everything」というタイトルを付けました。2020年は全員で1つの花火を制作しました。どれも1人1人の思いを乗せ、1つの大きな作品に仕上げています。合同作品は今年も行う予定で、これまでのように1人1人の思いをつなぎ合わせて作品を作れたらいいな、と思っています。

個人の作品は各々が競争製作中です。乞うご期待！



**あさやけアートフェスティバル
2023開催**
あ～！っと発見！アートフェス♪♪

会 場：ルネコだいら展示室
開催日時：6月30日(金)～7月4日(火)
午前10時から午後6時
最終日の4日は午後3時まで

2023年アートフェスティバルにむけて

絵画クラブの取り組み

あさやけ作業所

あさやけ作業所の絵画クラブでは、毎月4回水曜午後に、武蔵野美術大学の学生さんの講師をお招きして、様々な創作活動に取り組んでいます。水曜になると「今日は何するの？」「先生来る？」とみんなワクワクしています。

絵をかくのも、創作するのも大好きな11人がクラブメンバーです。絵画では、泉さん、松嶋さん、閔さん、麻生さん、野口さん、守山さん、武井さんは、みんな違って、味わいのある、かわいいオリジナルのキャラクターを描きます。野口さんはみんなの似顔絵が得意でプロの腕前です。松嶋さん、閔さんは物語も書き出し、漫画のようにならしい作品になります。武井さんは色んな路線の電車も上手いです。吉川さんは力強く重ねるよう創作します。鎌須賀さんはのびのびと自由に気持ちよく大きく描き、大河原さんは優しく繊細なタッチでカラフルな柔らかな羽のような美しい世界を画用紙いっぱい描きます。

講師の先生による創作活動になると、いつもの絵画とはまた違った、意外性のある、色や雰囲気の、とっても魅力的な作品が生れてきます。それもみんなの楽しみの一つです。

アートフェスティバルには、クラブメンバー以外でも、各班で創作活動をしている仲間の作品も出品します。みんなの自由で真剣でユニークな世界観をぜひご覧ください。



いいもののイツパイ！みんなで来てね！

春のミニショップ

5月24日(水)開催

とき AM11:00～PM2:30
ところ あさやけ風の作業所
 小平市中島町3-8
 (こもれびの足湯の隣)

煎餅・おかき
 川越にあるいもの子
 事業所さんで一つ一つ丁寧に作られたお煎餅

**大田市場
新鮮野菜**
 大田市場から直接仕入れた季節の野菜

**CAZE CAFE
営業します**
 水曜定休ですが、営業します！
 ぜひともお立ち寄りください

手作りプリン
 ブレーノ、抹茶
 ミルクの3種類

**笹団子
笹ちまき**
 春のミニショップと言えばコレ！新潟直送！

法兰克フルト

**雨天の場合
も開催します**

連絡先／TEL 042-349-2366 FAX 042-346-6609

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願いします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

4月の廃品回収は、雨天のため中止にさせていただきました。2ヶ月続けての中止になり皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

次回は6月17日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。